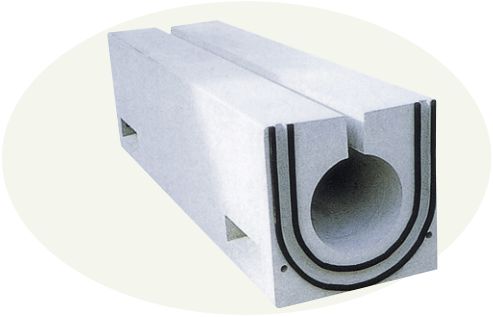
円型水路Ⅰ型(T-25対応)NEXCO「設計要領」に準拠



NEXCO『設計要領』に準拠したプレキャスト円型水路

特長

1 昭和45年、高速道路の中央分離帯に現場施工されて以来、一般道路、トンネル内側溝、グランド用排水溝や駐車場など、広く活用され、その有効性が認められております。

2 設計荷重は、T-25対応となっております。

3 スリット(呑口)部にオプションで専用グレーチングを取り付ける事が出来ますので、歩道部などでご使用の際に、自転車のタイヤやヒールなどの落ち込み防止になります。

4 舗装止めを兼ねておりますから、経済的な舗装断面を構成する事が出来ます。また、道路幅を有効に利用できます。

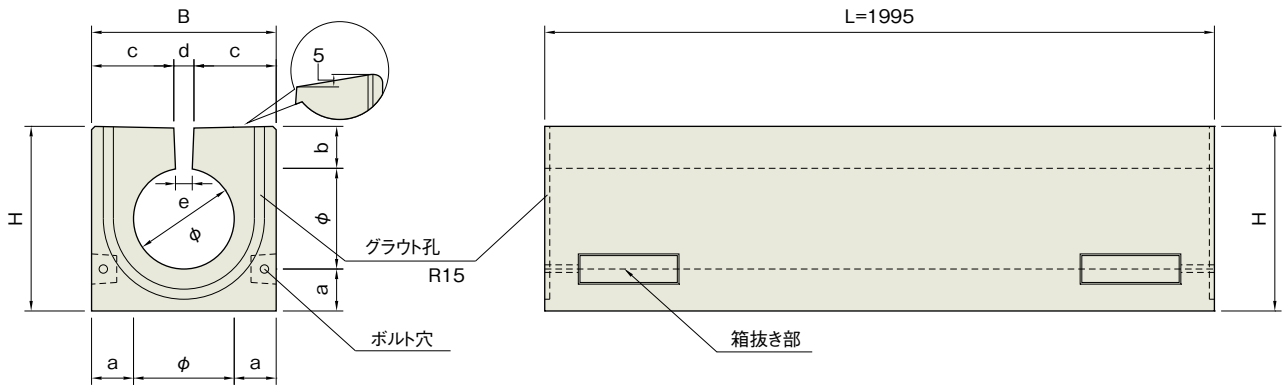
5 水路ブロック表面にインターロッキングやタイルやカラー平板を布設したり、または、人工芝生を布設することにより、水路としてのイメージを取り去る事も可能です。

6 施工は、ボルトで連結し、目地モルタルを流し込むだけの簡単な工法で、1日40m～70m据付けが可能です。

7 製品長最短0.5mの製品まで製作が可能です。また、排水性舗装や曲線部分に対応出来る製品もご用意していますので、営業担当者にご相談下さい。

寸法図 T-25

(単位:mm)



内径	B	H	φ	a	b	c	d	e	参考重量(kg)
φ150	350	300	150	100	50	160	30	20	391
φ200	420	390	200	110	80	190	40	30	598
φ250	480	465	250	115	100	215	50	40	790
※ φ300	550	550	300	125	125	245	60	50	1049
φ400	670	670	400	135	135	305	60	50	1483
φ450	730	730	450	140	140	335	60	50	1723

※φ300のみがNEXCOの規格と同一です。

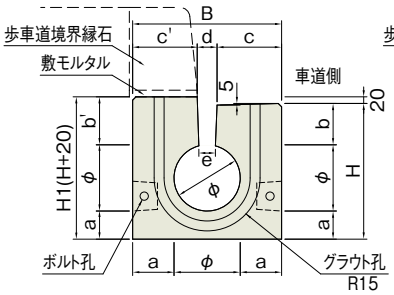
寸法図 T-25

（単位:mm）

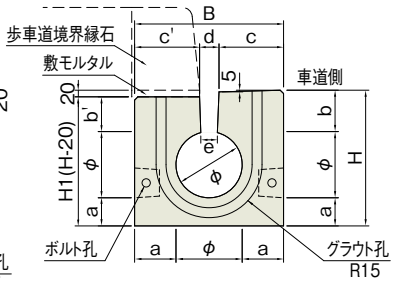
nexco規格 Ds-PSt ・φ0.20 同等品

正面図

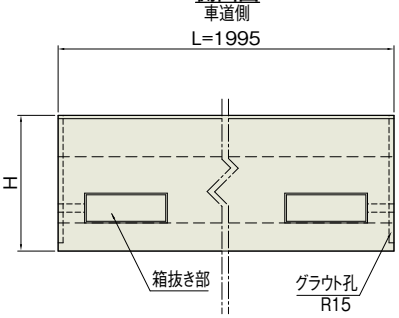
監査廊側As舗装タイプ
Ds-St･φ0.20(A)同等品



監査廊側Co舗装タイプ

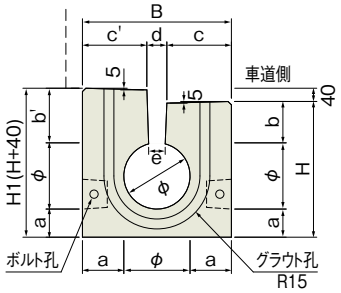


側面図

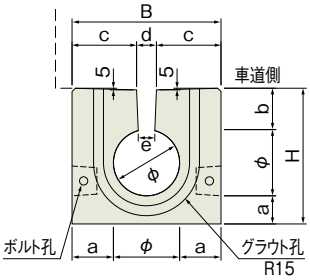


正面図

監視員通路側As舗装タイプ
Ds-St･φ0.20(B)同等品

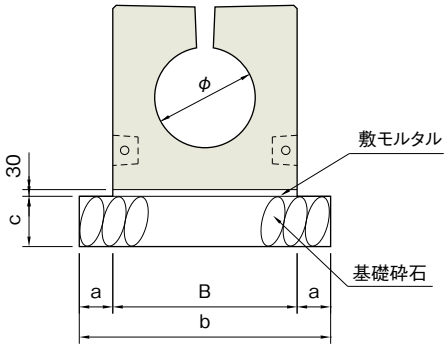


監視員通路側Co舗装タイプ



設置場所	舗装種別	B	H	H1	φ	a	b	b'	c	c'	d	e	参考重量(kg)
監査廊側 Ds-St･φ0.20(A)	As舗装	410	450	430	200	85	125	145	195	195	60	50	728
	Co舗装			390				105		196	59		693
監視員通路側 Ds-St･φ0.20(B)	As舗装			450				165		194	61		748
	Co舗装			410				125		195	60		708

標準施工断面図



■ 寸法表 （単位:mm）

内径 (mm)	B (mm)	a (mm)	b (mm)	c (mm)
φ150	350	50	450	100
φ200	420	50	520	100
φ250	480	50	580	100
φ300	550	50	650	100
φ400	670	100	870	150
φ450	730	100	930	150

参考歩掛

本体据付歩掛L=2m（10m当り）

工種	名　称	規格･寸法	単位	数量 φ150	φ200	φ250	φ300	φ400	φ450
製　品	円型水路I型	L=2000mm	本	5	5	5	5	5	5
本　体据付工	土木一般世話役		人	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	0.60
	特殊作業員		人	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20	0.40
	普通作業員		人	0.40	0.60	0.60	0.60	0.60	1.20
	バックホウ(クレーン機能付)運転工	山積0.28m³　1.7t吊り	日	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	—
	バックホウ(クレーン機能付)運転工	山積0.45m³　2.9t吊り	日	—	—	—	—	—	0.30
	諸雑費率		%	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	15.0
基礎工	基礎砕石費率		%	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	14.0

注1）歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含みません。
注2）基礎砕石費、諸経費は、労務費とバックホウ(クレーン機能付)運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上して下さい。
　　但し、諸経費として計上する金額は、上限値とします。
注3）基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上して下さい。
注4）基礎砕石費は、材料の種別･規格に関わらず適用できます。
注5）「国土交通省土木工事積算基準」（平成25年度版）および「国土交通省土木工事積算基準マニュアル」（平成25年度版）を参考。